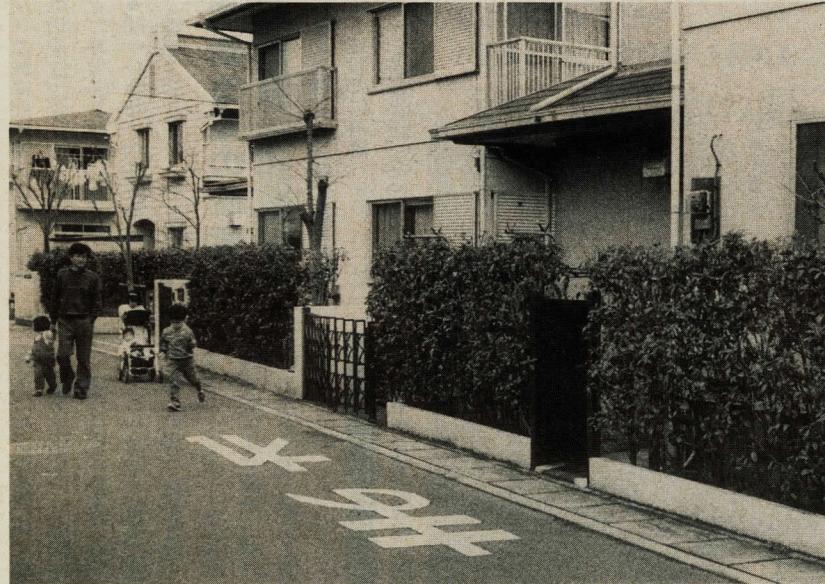


おだわら

発行 小田原市役所

〒250 小田原市荻窪300番地

編集 広報課 (☎33-1261)



災害にも安全な生け垣を増やして緑あふれるまちに

平成元年度から実施している
小・中学校の通学路に面したブ
ロック塀や石塀等の実態調査は
四年度で終了しますが、市民の
安全の確保を緊急に図る必要が
あるため、補助事業の実施を早
め、今年四月から危険なブロッ
ク塀等を改善する所有者に次の
設置する所有者。

経費を補助するものです。
◆補助対象 通学路に面し、高
さが一メートルを超えている
危険なブロック塀や石塀、門
柱、万年塀などを補強、撤去
又は撤去後に安全な工作物を
設置する所有者。

ただし、當利を目的とする法

小・中学校通学路の
危険な塀などが対象に

市では、地震などによる災害を未然に防ぐために小・中学校の通学路に面した危険なブロック塀や石塀などを補強したり、市街地の緑化を進め潤いあるまちづくりにつながる生け垣を設置したりする方に、四月からその費用の一部を補助することになりました。ぜひご利用ください。

危ないブロック塀の改善や
生け垣の設置に費用を補助

行いますので、ご協力をお願い
します。
◎調査が終了した通学路

(十七校)
○小学校 大窪・早川・本町・
城内・新玉・芦子・久野・山
王・町田・足柄・富水・片浦

○中学校 城南・城山・白山・
片浦・白鷗
○中学校 泉・城北・酒匂・鴨
我・千代・豊川・国府津
作・下中・下曾我・前羽・曾
宮・千代・橋・国府津
●問い合わせ

人は、規模により補助の対象
とならないことがあります。
◆補助額 市が基準としている
標準額の五十パーセントを補
助します。
○平成三・四年度で調査する通
学路 (二十一校)

☆実態調査については
防災対策課 ☎33-1855
建築指導課 ☎33-1438

まちの緑化を進めよう
生け垣を増やして

市の技術基準に適合する安全
なブロック塀、石塀、門柱、
フェンスなど。

◆申請方法 補助金の交付を希
望される方は、事前に「補助
金交付申請書」を提出してくれ
ださい。

◆補助対象 一般の人が利用するための
道路(道水路及び私道を含む)
に延長五メートル以上生け垣
の部分が接していること。

◆申請方法 生け垣の設置に当
たり補助金の交付を希望され
る方は、工事をする前に公園
設置するとき

○既存のブロック塀を撤去して
新規に設置するとき 一万円

◆補助金額 一萬円

◆申請方法 生け垣の設置に当
たり補助金の交付を希望され
る方は、工事をする前に公園
設置するとき

○既存のブロック塀を撤去して
新規に設置するとき 一万円

◆問い合わせ 公園緑地課 ☎33-1583

あなたのセンスを広報紙に
女性レポーターを募集

平成二年度までに調査を終了
したブロック塀等の所有者には、
その内容を「調査結果通知書」
でお知らせします。

なお、今後も引き続き調査を
行っており、今後も引き続き調査を
行っております。

◆募集対象・人数 市内在住の
二十歳以上(四月一日現在)
の女性、六人

◆任期 一年

◆謝礼 広報原稿一ヶ月分一
万円

◆応募方法 二百字程度の自己
紹介に、応募の動機、広報お
だわらの感想、取り上げたい

テーマなどを八百字程度にま
とめたものを広報課までお送りください。

◆申込期限 四月二十五日(木)

◆必着

◆選考方法 申込み多数の場合
は、応募者のお住まいの地域
や年齢、職業などを考慮して

幅広い層の方を選ばせていた
だきます。

◆問い合わせ 公園緑地課 ☎33-1583

◆申込先・問い合わせ

今年度の施政方針



山崎市長

市議会三月定例会で、山崎市長は、施政方針を表明しました。ここでは、この施政方針の主眼と今年度取り組む主な仕事をお知らせします(文中で施設の名称等は仮称のものもあります)。後日発行される財政特集号もご参考ください。

ゆとりと豊かさに満ちた社会の実現へ

満ちた社会の実現へ

先の考え方を生活重視の発想に切り替え、生き生きとした人間らしい生活をしていくことがで、新しい環境づくりを推進して、次世代の人々に手渡していくかな

政府も新年度予算で生活関連事業の充実を目指し、県も生活と都市の質を向上させようとする中で、小田原といふ都市の在り方を、世界日本、奈川、小田原と焦点を合わせていきながらもう一度考えてみる必要があります。

私たち、国際化と世界の中で日本が占める大きさを正しく理解しつつ、明治以来の生産優

新しい世紀が近づく中、世界は新たな国際秩序を模索しており、日本も転換期を迎えています。この中で、小田原といふ都市の在り方を、世界日本、奈川、小田原と焦点を合わせていきながらもう一度考えてみる必要があります。

日本が占める大きさを正しく理解しつつ、明治以来の生産優

ラン」に沿って、小田原が持つ個性を磨き伸ばし、快適で美しい都市空間を築き、その中で市民が豊かで多彩な生活を送れるように施策を進めていきます。

今年度予算は全部で約千二百八十三億円、昨年度比九・七パーセント増です。このうち、一般会計は約五百四十八億円で五

・七パーセント増えています。

ここで「おだわら21世紀プラン」の中の主な事業を紹介し

ます。まちづくりは地域に暮らすすべての人と行政が一体となつて進めていくことが基本で

ます。みなさまのご理解ご協力を

よろしくお願ひいたします。

○身体障害者、又は身体障害者と生活している方が、所有車等

する軽自動車等

○生活保護法による生活扶助を受けている方が所有車等

し、自ら使用する軽自動

車等

○身体障害者、又は身体障

害者と生活している方が、所有車等

する軽自動車等

○生活保護法による生活扶

助を受けている方が所有

車等

し、自ら使用する軽自動

車等

○身体障害者、又は身体障

害者と生活している方が、所有車等

する軽自動車等

○生活保護法による生活扶

助を受けている方が所有</p

